

重要文化的景観

遠野土淵山口集落案内図

Guide map to the important cultural landscape of the Tono Tsuchibuchi Yamaguchi Settlements

馬産地・遠野と山口集落

馬は移動や運搬、農耕などに役立つ大事な動物で、遠野一帯でも古くから飼養されていました。江戸時代には馬産の礎が築かれ、近代以降も基幹産業として営まれてきました。現在も、乗用馬などの育成が行われています。

山口集落は江戸時代、山口村と栃内村の一部で、明治時代に土淵村となり、昭和29年の合併で遠野市となります。市の中心市街地から東方の三陸海岸へと向かう街道が通過しており、大槌方面と釜石方面に分かれる分岐点に立地しています。街道沿いに並ぶ家々では、馬を飼い、農耕や駄賃付け(運送業)に利用していました。以上より、馬産地・遠野を象徴する重要文化的景観「遠野 荒川高原牧場土淵山口集落」の一部となっています。

柳田國男「遠野物語」と山口集落

かつて人馬が行き交った山口集落では、旅人によってさまざまな話をもたらされたほか、家々や地域の由緒なども語られていたものと思われます。こうして当地に残った話を収集していた佐々木喜善が柳田國男に語り、まとめられたのが日本民俗学の記念碑的著作とも言われる『遠野物語』です。

山口集落には、『遠野物語』に描かれるさまざまな場所が残っています。山男山女と出会うとされた峠、河童が出る淵、ザシキワランがいたという屋敷跡などはその一例です。人が馬と一緒に暮らしていたころ、山々への畏怖、危険な場所への警告、不思議な出来事などをどのように表現してきたのかを、物語と景観で感じてください。

山口集落の「ながめぐり」

山口集落では、住民自らが取り組む景観保全の指針として「おらほのながめぐりガイドライン」を定めています。また、市と「遠野市土淵町山口集落ながめぐり協定」を結び、協働で『遠野物語』の原風景を守っています。

令和2年3月 遠野市教育委員会 協力 山口自治会 この事業は文化庁の補助を受けています。



『遠野物語』の舞台となった場所一覧

- | 番号 | 場所名 | 説明 |
|----|------------------------|---------------|
| 1 | 第70話 田尻家の怪異 | 田尻家の怪異 |
| 2 | 第69話 大洞家 | 大洞家 |
| 3 | 第111話 デンデラノ | デンデラノ |
| 4 | 第58話 河童出た地 | 河童出た地 |
| 5 | 序文は「遠野物語」の語り手 佐々木喜善の生家 | 佐々木喜善の生家 |
| 6 | 第18話 ザシキワランがいた家の跡地 | ザシキワランがいた家の跡地 |
| 7 | 第21話 薬師堂 | 薬師堂 |
| 8 | 第111話 ダンノハナ | ダンノハナ |
| 9 | 第5話 山男が出た峠 | 山男が出た峠 |
| 10 | 第87話 狼がいた峠 | 狼がいた峠 |

『遠野物語』の著者 柳田國男
Writer of the *Legends of Tono*
Kunio Yanagita

『遠野物語』の語り手 佐々木喜善
Narrator of the *Legends of Tono*
Kiemon Sasaki

明治48年(1910)発行の『遠野物語』
The *Legends of Tono* published in 1910